

AICHI
PREFECTURAL
MUSEUM
OF
ART

MEMBERSHIP

愛知県美術館友の会 会報 第49号

空中回廊

企画展：ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展
愛知県美術館コレクションから：伊藤若冲《六歌仙図》



伊藤若冲
《六歌仙図》(部分)

ライデン国立古代博物館所蔵

古代エジプト展

EGYPT, LAND OF DISCOVERIES
from The National Museum of Antiquities in Leiden, The Netherlands

2020年
9月19日(土)～
12月6日(日)

「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」は 今までの古代文明展とどこが違うの？

オランダのライデン国立古代博物館は、ヨーロッパの5大エジプト・コレクションに数えられるほどの質・量を備えた古代エジプトのコレクションを所蔵しています。本展「古代エジプト展」は、このライデン国立古代博物館のコレクションのうち、約250点を日本へ運び一堂にご紹介するものです。

とはいえ、古代文明を扱う展覧会は、これまでもたびたび行われてきました。今まで行われてきた古代文明展と本展は何が違うのか。本展がとりわけ力を入れているいくつかの点を、友の会の皆さまに向けて特別にお話します。

本展の特徴の一つは、新たな科学技術を使ったミイラ研究の公開です。

ミイラの内側を調べるには、これまで、ミイラに巻かれた布をほどく必要がありました。ただし、研究目的とはいえ、それはミイラの形を変えてしまうことになります。

しかし、ライデン国立古代博物館は早い時期からミイラを布に包まれた状態のまま保存することを決めます。そして、布をほどかず、1950年代よりX線による調査を始めます。さらに、1990年代には世界で初めてCTスキャンを用いた調査を実施しました。

本展では、人のミイラ3体と動物のミイラ1体を新たにスキャンした結果を、ミイラそのものと共に展示します。スキャンすることにより、人々が護符(お守り)などと共に埋葬されたことが確認できます。また、頭の形状を調査し、生前の顔だちを復元した模型もご覧いただけます。

加えて、ミイラの内臓を保管するための木箱も、展示します。マクロスコープやX線を用いた調査により、壺の中に入っている内臓や、その防腐処理方法の解明も進んでいるそうです。



《ホルの外棺》
ライデン国立古代博物館
Image©Rijksmuseum van Oudheden
(Leiden, the Netherlands)



《男性のミイラ》
ライデン国立古代博物館
Image©Rijksmuseum van Oudheden
(Leiden, the Netherlands)



《金彩のミイラマスク》
ライデン国立古代博物館
Image©Rijksmuseum van Oudheden
(Leiden, the Netherlands)



《ホルネジトエフの内臓を納めた木箱》
ライデン国立古代博物館
Image©Rijksmuseum van Oudheden
(Leiden, the Netherlands)



《タウと家族の供養碑》
ライデン国立古代博物館
Image©Rijksmuseum van Oudheden
(Leiden, the Netherlands)



《パディコンスの『死者の書』》
ライデン国立古代博物館 Image©Rijksmuseum van Oudheden (Leiden, the Netherlands)

続けて皆さんに御覧いただきたいのは、ミイラ棺の立体展示です。棺を寝かせずに立てて展示しているライデン国立古代博物館の常設展にならない、本展でも複数の棺を立てて展示します。展示の迫力もさることながら、左右を含めた様々な角度から立っている棺を眺めると、棺に描かれた様々な神様や象形文字などがよく観察でき、時代ごとに異なる多彩な装飾に驚かされることでしょう。



《護符とビーズの首飾り》
ライデン国立古代博物館
Image©Rijksmuseum van Oudheden
(Leiden, the Netherlands)

そして、これらの極めて貴重な古代エジプト・コレクションをライデン国立古代博物館が所蔵するにいたった、その背景についても少しお話ししましょう。本展では最初に、『エジプト誌』など19世紀前半の書籍の資料を通じ、エジプトがどのようにヨーロッパによって「再発見」され関心の的となったのか、その経緯に触れます。

そして、1950年代後半の、ライデン国立古代博物館による発掘調査についてご紹介します。オランダはユネスコとともに、エジプトのアスワン・ハイダム建設に伴う考古学調査を支援した結果、エジプト政府と友好な関係を築くに至りました。遺跡の一部を持って帰ることも許されます。本展では、こうしてオランダの発掘調査の地で出土した副葬品や彫像、石碑を、当時の発掘の様子と共に展示します。



《パウティのピラミディオン》
ライデン国立古代博物館
Image©Rijksmuseum van Oudheden
(Leiden, the Netherlands)

さて、「古代エジプト展」について、がぜん興味が高まったのではないかと思います。実は、今回、このような形で「古代エジプト展」について公式に発表できるようになるまで、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う様々な困難がありました。もともと、本展は2020年4月に九州国立博物館で立ち上げの後、北海道立近代美術館に巡回し、そして第三会場として愛知県に来る予定でした。しかし、世界的に感染が拡大する中、第一会場、第二会場での開催を残念ながら見送らざるを得なくなります。そして、急遽、愛知県美術館が第一会場となったのです。

多くの調整、交渉の末、何とか開催に至った本展、大変貴重な機会ですので、お楽しみいただけますと幸いです。(もちろん、ご来場の際には十分な感染予防対策をお忘れなようお願いいたします！)

愛知県美術館学芸員 中村史子

*「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」(2020年9月19日-12月6日)に関する詳しい情報は、随時、美術館のウェブサイトなどをご確認ください。

伊藤若冲 《六歌仙図》

いまや日本で最も人気の絵師と言ってもいいほど、展覧会を開けば大行列のできる伊藤若冲。強烈な色彩と神経質なまでに細かく描き込まれた若冲の作品には、鑑賞者の心を掴んで離さない魅力があります。しかし、若冲の作品は着色画だけではありません。墨の濃淡を巧みに利用した水墨画も素晴らしい作品ばかりです。愛知県美術館木村定三コレクション所蔵の若冲筆《六歌仙図》は、文化人でもある若冲の仕掛けが施されたユニークな作品です。

大伴黒主、小野小町、喜撰法師、在原業平、僧正遍昭、文屋康秀ら六人の歌聖が描かれていますが、彼らの様子は歌を唄う姿には見えません。実は、彼らは「豆腐田楽」を作っているのです。酒を飲んで酔っ払う僧正遍昭と文屋康秀、豆腐を串に刺す在原業平、すり鉢で味噌をする喜撰法師、炉に並べた田楽を団扇で扇ぐ大伴黒主、そして箱から豆腐を取り出す小野小町。聖人を卑近にしてしまうだけで充分に面白いのですが、注目していただきたいのは、小町の手と頭の間“描かれた点”です。

画面全体を見ると、小町は誰とも視線が合いません。小町とそれ以外の5人にはとても面白い関係があります。本図が制作される前、「化粧六歌仙」という歌舞



伊藤若冲
《六歌仙図》(部分)
寛政3(1791)年
紙本墨画
137.8 cm × 64.9 cm
(木村定三コレクション)

伎が公演されました。仕丁(小間使い)が5人の歌仙に変装して小町を口説くが、失敗に終わり、実は天下を狙う謀反人だったと明らかになる、というお話です。これを元に制作された演目「六歌仙容彩」に合わせて本図を見ると、遍昭は小町に無視され大杯をあおり飲み、康秀は小町に会うことすら叶わず泥酔、業平は断られ俯いて黙々と豆腐を串に刺し、喜撰は茶屋の娘(実は小町)を口説き、肌脱ぎになって踊っています。黒主は小町に明らかにされる反逆の意味を持った歌を詠んでいるのでしょうか。歌舞伎の中の出来事と豆腐田楽をつくる姿を掛け合わせているのです。では、小町の目の前に描かれた点の意味は何でしょう? 多くの男性に言い寄られてしまう自らの運命を嘆いた涙ということになりましょうか。江戸時代の絵画には、当時の知識人が見て楽しめるような仕掛けが込められた作品も多く、そのような作品に隠された意味を想像するのも日本美術の楽しみの一つです。そして、私たちがそんな秘密に気付くためのヒントが、絵の中の本当に小さな点に隠されていることもあるのです。

愛知県美術館学芸員 由良 濯

学芸員の横顔

由良 濯 -Yura Arou-

愛知県に来てから3年が経ちました。太りました。これが出る頃には元の体重に戻っている、はず。



会員のひろば

新型コロナウイルスの感染予防のため、特別鑑賞会や友の会の講座を中止・延期しましたので、記事を割愛しました。

編集後記

無理やり消した火を再び燃やすには、パワーが必要です。しかも新しいスタイルで「適切に」燃やさねばなりません。私は展覧会開催に向けて尽力されている方々の姿を見聞きし、再び美術館に行くというパワーが湧き出てきました。

- 編集 松下智子 稲垣真美代/井上真紀子/喜田泉/小林克敏/富永晃一/森健次
- 協力 愛知県美術館
- 発行 2020年9月

友の会入会のご案内

詳しい内容を知りたい方、入会をご希望の方は事務局(下記)までお問い合わせください。入会のご案内パンフレットやホームページでも詳しく紹介しております。ぜひご覧ください。

受付場所

- ★愛知県美術館 10階受付
- ★友の会事務局 ★振込可

これからの展覧会のご案内

ライデン国立古代博物館所蔵

古代エジプト展

EGYPT, LAND OF DISCOVERIES
from The National Museum of Antiquities in Leiden, The Netherlands

2021年9月19日(土) ~ 12月6日(日)

愛知県美術館友の会

〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目 13-2
愛知県美術館内(愛知芸術文化センター 10階)

tel. 052-971-5511(代)

fax. 052-971-5617

(火・木 11:00~15:00)

info@apmoa-tomo.com

愛知県美術館ホームページ

愛知県美術館友の会

検索

www-art.aac.pref.aichi.jp

twitter

@apmoafriends